IMS café



2019年12月1日着任

髙 谷 光

たかや・ひかる

特別研究部門(光分子科学研究領域光分子科学第 三研究部門) 准教授(クロスアポイントメント)



専門は有機金属化学です。X線吸収分光による反応中触媒のその場観察研究がきっかけになって分子研とご縁ができ、昨年12月に京大化研とのクロスアポイントメントで着任を致しました。分子科学のメッカ「分子研」でしかできない研究ができればと思っています。目下のところUVSORの先生方の協力を得てマイクロ波照射下における反応加速現象の解明に取り組んでいます。

2019年12月1日着任

木下敬正

きのした・たかまさ

技術課計算科学技術班 計算科学技術一係 係員



民間企業での勤務を経て2019年12月に計算科学技術班に着任し、スパコンの運用管理を担っている一係にて、Webアプリケーションの開発に従事しております。ICT領域での職務経験はあるものの、プログラミング等の経験が無いため、上司や先輩方に日々ご指導いただきながら技術の習得に励んでおります。一刻も早く独り立ちできるよう精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2019年12月16日着任

松岡亮太

まつおか・りょうた

生命·錯体分子科学研究領域 錯体物性研究部門 助教



2017年に東京大学理学系研究科化学専攻で博士(理学)の学位取得後、筑波大学数理物質系化学域での助教を経て、2019年12月より草本グループの助教に着任いたしました。これまでの専門はナノ物質科学、錯体化学、超分子化学です。草本グループの得意とする開設電子系分子を自身の専門とうまく組み合わせ、新しい物性科学を開拓していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2020年1月1日着任

奥 村 慎太郎

おくむら・しんたろう

生命・錯体分子科学研究領域 錯体触媒研究部門 助教



2018年に京都大学大学院工学研究科で博士(工学)の学位取得後、信越化学工業株式会社での研究員を経て、本年1月1日付で生命・錯体分子科学研究領域、魚住グループの助教として着任しました。専門は有機金属化学、有機合成化学です。遷移金属錯体や光エネルギーを駆使して、有機化合物の新たな反応性の開拓を目指しています。どうぞよろしくお願いいたします。

副川

2020年3月1日着任

大 塚 尚 哉

おおつか・なおや

生命・錯体分子科学研究領域 錯体触媒研究部門 助教



2018年に横浜国立大学大学院で学位取得後、分子科学研究所・特任研究員を経て、2020年3月より椴山Gの助教に着任いたしました。専門は有機合成化学で、特に新規分子の設計・合成を行ってきました。これからは新規分子の合成を行いながら、機能発現にも焦点を当て研究に取り組んでいきます。分子研三年目の新人ですが、気持ちを新たに精進していく所存です。よろしくお願いいたします。

2020年3月1日着任

松尾

まつお・ごう

物質分子科学研究領域 電子構造研究部門 特任専門員



専門は有機合成化学【天然物の全合成(BTX-B等)、各種 反応開発(無保護および水中でのグリコシル化反応、ヨウ化 サマリウムを用いたエーテル環合成等)】。これまで和光、札幌、スウェーデン(ルンド)、山形(鶴岡)、横浜と転々としてきました。杉本グループでは「本当の」真の意味での異分野融合を目指し「画期的なものを生み出す」ことに参画させていただきます。どうぞ宜しく御願い致します。

IMS café



2020年4月1日着任

Ш 知 瀬

せがわ・やすとも

生命・錯体分子科学研究領域 錯体物性研究部門 准教授

本年4月に生命・錯体分子科学研究領域の准教授に着任い たしました。千葉県出身の3児の父です。最近は子供がLaQ というパズルブロックにハマり、保育園に行くギリギリまで せっせと制作しています。私の研究は有機分子を3次元に組 み上げて新しい構造を作ることで、同じようにせっせと分子 模型でなにか制作している姿を見ることがあるかと思います。 これからどうぞよろしくお願いいたします。



2020年4月1日着任

光 持

くらもち・ひかる

協奏分子システム研究センター 階層分子システム解析研究部門 准教授



2013年に東京工業大学大学院理工学研究科物質科学専攻 で博士 (理学) を取得後、理研基礎科学特別研究員、研究員、 JSTさきがけ研究員を経て、本年4月から協奏分子システム 研究センターの准教授として着任しました。超高速分光・非 線形分光を用いた凝縮相分子の反応ダイナミクスの研究が専 門です。新しい分光計測法を開発・駆使して野心的な研究を 展開したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

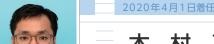
2020年4月1日着任

平 胮

たいら・よしたか

極端紫外光研究施設 電子ビーム制御研究部門 准教授

2012年に名古屋大学工学研究科で博士(工学)を取得後、 産業技術総合研究所研究員を経て4月から着任しました。博 士課程在籍時には極端紫外光研究施設で受託学生として新し いガンマ線源の開発と応用研究に取り組んでいました。現在 でも関連する研究を行っています。再び慣れた場所で研究で きること、正門に咲き誇る美しい桜を見ることができること を嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。



きむら・しんいち

特別研究部門(物質分子科学研究領域電子構造 研究部門) 教授(クロスアポイントメント)



2013年に分子研から大阪大学に異動しましたが、はか らずもクロスアポントメント (CA) で7年ぶりに帰ってき ました。UVSORを使いはじめてから32年、この新人自己 紹介は4回目です。CAの利点を生かして、大学での教育と 分子研での研究をうまく融合させていければと考えています。 どうぞよろしくお願いいたします。

2020年4月1日着任

いいたします。

武 たけだ・こうた

生命・錯体分子科学研究領域 生体分子機能研究部門 特任助教

2015年に東京農工大学にて博士(工学)を取得したのち、 同大学の特任助教を経て2020年4月より青野グループの特 任助教として着任しました。これまで、酸化還元タンパク質 の構造機能解析から酵素電極反応系をベースとしたバイオエ レクトロニクスデバイスの開発などを行ってきました。分子 研では、細菌の走化性制御に関わるへム含有酸素センサータ ンパク質の研究に取り組んでおります。どうぞよろしくお願



2020年4月1日着任

晉

みつはし・たかあき

特別研究部門 特任助教



2014年 東京大学 薬学部薬科学科 卒、 2016年 東 京大学大学院 薬学系研究科薬科学専攻 修士課程修了、 2019年 東京大学大学院 薬学系研究科薬科学専攻 博士 課程修了博士(薬科学)、2019年 東京大学大学院工学系研 究科 特任助教、2020年 分子科学研究所 特任助教。超 分子化学のツールを使い、生化学の研究をしております。よ ろしくお願い致します。

2020年4月1日着任

谷 本 勝 一

たにもと・しょういち

理論・計算分子科学研究領域 計算分子科学研究部門 IMSフェロー

九州大学にて液体の統計力学理論を用いた理論研究を行い、2019年に日本学術振興会特別研究員 (DC2)、昨年度3月に学位取得、4月に奥村Gに着任しました。初めて分子研を訪れたのは5年前の分子シミュレーションスクールの時ですが、将来ここで研究したいと思ったことが学位取得後すぐに実現し非常に嬉しく思います。奥村Gでは発病メカニズムの分子論的理解及び治療法の理論的提案を目指して研究を行います。よろしくお願いします。



2020年4月1日着任

鶴 岡 和 幸

つるおか・かずゆき

物質分子科学研究領域 電子構造研究部門 特任研究員



2020年3月に東京大学理学系研究科化学専攻を修了し、 4月1日付けで杉本グループの博士研究員となりました。博士課程在籍時は真空実験を用いた金属クラスター研究を行っておりました。これまでの背景を生かしつつも、新分野である表面科学の世界での研究に邁進したく思います。よろしくお願いいたします。

2020年4月1日着任

斎 藤 晃

さいとう・ひかる

物質分子科学研究領域 電子構造研究部門 日本学術振興会特別研究員

2020年3月に早稲田大学大学院先進理工学研究科で博士 (工学)の学位を取得し、同4月より杉本グループの一員と して加わりました。早稲田大学では材料開発や反応解析に重 きを置いた固体触媒の研究を行ってきました。杉本グループ では、これまでの固体表面反応への理解を深めるために、オ ペランド分光法を基軸として固体表面反応を詳細に解き明か したいと思っています。

2020年4月1日着任

島田賢也

しまだ・けんや

光分子科学研究領域 光分子科学第四研究部門 客員教授



広島大学放射光科学研究センター(HiSOR)のセンター長を務めています。真空紫外線・軟X線域の放射光を用いた高分解能角度分解光電子分光による固体物性研究を行なっています。昨年度より学術研究の基盤を支えるUVSOR, Photon Factory, HiSORの3施設の連携強化の取り組みを行なっており、先進的光電子分光を中心に共同研究を進めたいと思います。

2020年4月1日着任

上 田 顕

うえだ・あきら

生命·錯体分子科学研究領域 生命·錯体分子科学研究部門 客員准教授

2010年に大阪大学で博士(理学)を取得したのち、日本学術振興会特別研究員、東京大学物性研究所助教を経て、2019年より熊本大学大学院先端科学研究部基礎科学部門でで准教授(PI)を務めています。新しい機能性分子性物質の開発とその物性化学を専門としており、分子研の関連分野の先生方との共同研究を通じて、新たな展開を拓くことができればと思っています。よろしくお願いいたします。

2020年4月1日着任

深澤愛子

ふかざわ・あいこ

生命・錯体分子科学研究領域 生命・錯体分子科学研究部門 客員教授



名古屋大学大学院理学研究科での助教、准教授を経て、2018年11月より京都大学高等研究院物質 - 細胞統合システム拠点で研究室を主宰しております。有機合成化学と構造有機化学をベースに、有機分子性材料の新境地を拓くことを目指して、新奇なπ共役分子の創製に取り組んでおります。微力ながら分子研の運営や研究に貢献できれば幸甚に存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

IMS café



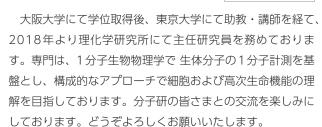
2020年4月1日着任

忇 瀑 渡

わたなべ・りきや

生命・錯体分子科学研究領域

生命・錯体分子科学研究部門 客員教授





2020年4月1日着任

東

ひがし・まさひろ

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員准教授



京都大学での学位取得後、ミネソタ大学での博士研究員を 経て、2009年から2013年まで博士研究員として分子研 に在籍していました。その後、琉球大学での助教を経て、現 在は京都大学大学院工学研究科で准教授を務めています。専 門は理論化学・計算化学で、特に溶液中やタンパク質中といっ た凝縮系の励起状態反応ダイナミクスの解析に取り組んでい ます。どうぞよろしくお願い致します。

2020年4月1日着任

敏 森

もり・ひろとし

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員教授

量子化学を中心に、「各分子の電子構造と相互作用」および、 それら分子が集合した際の「マクロ物性」をリンクするマテ リアルズ・インフォマティクスに取り組んでいます。イオン 液体・超臨界流体などの機能性液体の基礎物性から、有機半 導体材料や薬関連分子の設計にまで亘り、幅広く興味を持っ ています。分子研は、研究者を目指した学生時代から憧れの 場でした。多くの方々との交流・共同研究を楽しみにしてお ります。どうぞ宜しくお願い致します。

2020年4月1日着任

やなせ・よういち

理論・計算分子科学研究領域

理論・計算分子科学研究部門 客員教授



2001年に京都大学で博士(理学)を取得後、東京大学 で助手、助教、新潟大学で准教授、京都大学で准教授を経て、 2020年1月に教授に昇任しました。同4月より分子科学研 究所で客員教授を務めています。超伝導、多極子秩序相、ト ポロジカル物質を主な対象として、新しい量子凝縮相と特異 な電磁応答の開拓を目指した理論研究を行っています。どう ぞよろしくお願い致します。

2020年4月1日着任

伊 いとう・あつこ

協奏分子システム研究センター 階層分子 システム解析研究部門 事務支援員

2020年4月研究力強化戦略室に着任、2020年5月より、 倉持グループの事務支援員としてお世話になっております。 以前は、市内の小学校で英語指導補助員をしておりましたの で、分子研の静かでアカデミックな環境が大変新鮮でありま す。周りの方々の温かいご指導に感謝しつつ、楽しくお仕事 をさせて頂いている毎日です。少しでも早くお役に立てるよ うに努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

2020年5月1日着任

おおとも・あきひろ

生命・錯体分子科学研究領域 生体分子機能研究部門 助教



2019年9月に大阪大学で学位取得後、本年の1月より分 子研飯野グループの博士研究員(学振特別研究員PD)を経て、 5月より助教に着任いたしました。学生のころ耳にしていた 通り、分子研ではほぼ研究だけに集中できる環境が与えられ ていると実感しています。と同時に、その分良い研究成果を だすことが求められているということも強く感じます。この 良い環境を活用し、優れた成果が出せるよう精進してまいり ます。

2020年5月1日着任

太 田 みのり

おおた・みのり

研究力強化戦略室 特任専門員



5月より研究力強化戦略室にて、主に評価担当をしております。出身は岡崎ですが、東京、海外を経て、十数年ぶりにまた岡崎在住となりました。以前は天文や航空宇宙の広報に少し携わっており、その経験も活かせればと思っております。人生初の車通勤に四苦八苦しておりますが、素晴らしい環境で働けることに感謝し、お役に立てるよう努めて参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

2020年5月16日着任

志 村 真 希

しむら・まき

物質分子科学研究領域 電子構造研究部門 事務支援員



本年5月より杉本グループ事務支援員としてお世話になっております。至らぬ点も多々あるかと存じますが、新たなサポート体制の開拓・発展を含め、研究室の皆様のお役に立てるよう、日々努めて参りたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

2020年6月1日着任

湊 丈俊

みなと・たけとし

機器センター 主任研究員



2005年に東京工業大学で博士(理学)を取得後、理化学研究所、東北大学、京都大学を経て、分子科学研究所に主任研究員として着任しました。これまで走査プローブ顕微鏡を中心とした表面界面科学的手法を用いて、超高真空極低温での表面物性から固液界面での反応機構まで研究してきました。走査プローブ顕微鏡と表面界面科学を発展させる研究に挑みたいと思っております。

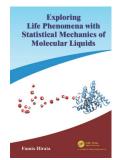
BOOKレビュー

Exploring Life Phenomena with Statistical Mechanics of Molecular Liquids

著書名 平田文男(名誉教授) 出版社 CRCプレス

概要

In a living body, a variety of molecules are working in a concerted manner to maintain its life, and to carry forward the genetic information from generation to generation. A key word to understand such processes is "water," which plays an essential role in life



phenomena. This book sheds light on life phenomena, which are woven by biomolecules as warp and water as weft, by means of statistical mechanics of molecular liquids, the RISM and 3D-RISM theories, both in equilibrium and non-equilibrium. A considerable number of pages are devoted to basics of mathematics and physics, so that students who have not majored in physics may be able to study the book by themselves. The book will also be helpful to those scientists seeking better tools for the computer-aided-drug-discovery.